

東京・ふるさとショップ探訪

〔第5回〕

オープン20周年でリニューアル 復興支援の拠点「いわて銀河プラザ」

歌舞伎座の真向かいの好立地、外国人もふらりと立ち寄り

✦ 文 山田 稔 Text by Minoru Yamada ✦



いわて銀河プラザ
東京都中央区銀座5丁目15-1
Tel.03-3524-8282
《開館時間》 10:30~19:00 (毎月末17:00まで)

10月20日にオープン20周年を迎えた「いわて銀河プラザ」。東京にある自治体アンテナショップとしては老舗の部類に入る。このたび店内改装を終え、9月21日にリニューアルオープンした。ショップ、総合インフォメーション、イベントスペース、U・Iターンスンターなどを含めた総面積は753㎡と広い。北海道に次ぐ広大な面積を誇る岩手県の豊かな自然、歴史、文化、観光資源などの魅力をアピールするとともに、7年半前の大震災からの復興を支援する拠点としての役割を担っている。

今回のリニューアルでショップはどう変わったのか。「震災で大きな被害を受けた三陸の沿

岸部のメーカーさんたちが、3、4年前からさまざまな商品をつくり頑張っています。海産加工物が多いのですが、これまでは冷凍設備が少なく、十分な対応ができませんでした。今回、大型の冷凍設備を増やしましたので、魅力的な商品をより多くご提供できるようになりました」（店長の長澤由美子さん）

イベント開催も盛んで、常に何らかのイベントが行われているが、今回新たにミニ催事場を設置したので、岩手の業者が上京したついでに新商品をアピールするといったことも可能になったという。

訪れるお客さんは40代から60代の女性が多く、1日の平均売り上げは144万7000円。年間販売額は5億2095万円（平成29年度）と全国のショップでも上位に入る。

「最近築地からぶらぶら歩いてくる外国人の方の姿も多くなりましたね。わさびに興味を示す方が多く、粉わさびをお土産に買っていかれます。あとは地酒も人気ですね」（長澤さん）

昨年は岩手県出身のAKBの佐藤七海さん、大相撲の錦木関が来店して記

念撮影を行うなどの来客促進のプロモーションを展開。今年10月に20周年記念イベントを開催する。

平成28年度の売り上げベスト3は、①切り落としシヨルターベーコン（いわちく）②三陸海宝漬（中村屋）③小岩井ソフトSサイズ（小岩井農場）だった。国産サバをオリブオイルに漬けたオリジナル商品「サヴァア？缶」（フランス語で元氣ですか？）も人気で、コットとセットになった商品もある。

岩手の魅力発信と復興支援の拠点となっている「岩手銀河プラザ」。築地、銀座を訪れた際には、ぜひお立ち寄りを。



profile

1960年生まれ長野県出身。日刊ゲンダイ経済編集部長、広告局次長を経て独立。編集工房レーヴ代表。著書に「酒と温泉を楽しむ[B級]山歩き」（光文社知恵の森文庫）、「分煙社会のススメ。」（光文社）など。「美楽」創刊時に山歩きエッセイを連載。